

製品安全データシート

制定日：2012年 2月17日

改定日：2016年 4月 1日

1. 化学物質等及び会社情報

- 製品名／商品名： バイオクロス EF672
- 製造者情報： 会社名 リンレイテープ株式会社
住所 栃木県那須烏山市藤田 1600-72
担当部門 栃木工場 品質保証課
電話番号 0287-88-8300 FAX番号 0287-88-9533

2. 危険有害性の要約

- 分類の名称： GHS分類基準に該当しない。
- 重要な危険有害性及び影響：
- ・物理化学的危険性： 該当しない。
 - ・健康有害性： 該当しない。
 - ・環境有害性： 該当しない。
- 特有の危険有害性： 該当しない。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質又は混合物の区別： 混合物
- 化学名： ー
- 構成： <基材> ポリエチレン・ワリフ
<粘着剤> 合成ゴム系粘着剤

4. 応急措置

- 吸入した場合： 固形物につき、吸引には該当しない。
- 皮膚に付着した場合： ゆっくりと剥がし、その後接触した箇所を水と石鹼で洗い流す。皮膚にかぶれ、痛み等がある場合には医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合： 清浄な水にて数分間充分洗浄をし、眼に傷がついた時や刺激がある時等、必要に応じて医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合： 出来るだけ吐き出し、異常を感じる場合には医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 水、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス消火器など。
- 特有の危険有害性： 燃焼により黒煙、一酸化炭素、二酸化炭素等を含むガスが発生する可

能性がある。

- 特有の消火方法 : 上記の消火剤を使用して消火する。
- 消火を行なう者の保護 : 消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 該当しない。
- 環境に対する注意事項 : 該当しない。
- 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材 : 該当しない。
- 二次災害の防止策 : 付近に着火源となるものがあれば速やかに取り除く。飛散したものは回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :
 - ・技術的対策 : 長期間かつ繰り返し粘着面を皮膚に触れないようにする。また、眼に触れないようにする。
火災にならないよう、炎、火花または高温体との接触を避ける。
 - ・局所排気・全体換気 : 該当しない。
 - ・安全取扱い注意事項 : 該当しない。
- 保管 :
 - ・技術的対策 : 火気注意。
 - ・混触禁止物質 : 現在のところ知見なし。
 - ・保管条件 : 変質を避ける為、直射日光・高温・高湿・水濡れを避け屋内保管する。
荷崩れ防止のため、段積みには充分注意の上出来るだけ低く保管する。
 - ・容器包装材料 : 該当しない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 該当しない。
- 設備対策 : 特に必要なし。
- 保護具 :
 - ・呼吸器の保護具 : 特に必要なし。
 - ・手の保護具 : 特に必要なし。
 - ・眼の保護具 : 特に必要なし。
 - ・皮膚及び身体の保護具 : 特に必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 :
 - ・物理的状态 : 固体
 - ・形状 : ロール状
- 臭い : —

■ pH	:	—
■ 融点・凝固点	:	—
■ 沸点、初留点及び沸騰範囲	:	—
■ 引火点	:	—
■ 燃焼又は爆発範囲の上限・下限	:	—
■ 蒸気圧	:	—
■ 蒸気密度	:	—
■ その他	:	—

10. 安定性及び反応性

■ 安定性	:	一般的な貯蔵及び取扱いにおいては安定で反応性はない。
■ 反応性	:	危険な分解反応、自己反応性はない。
■ 危険有害反応可能性	:	現在のところ知見なし。
■ 避けるべき条件	:	現在のところ知見なし。
■ 混触危険物質	:	現在のところ知見なし。
■ 危険有害な分解生成物	:	現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

■ 急性毒性	:	現在までのところ知見なし。
■ 皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	皮膚腐食性はないが、長時間皮膚に貼り付けた状態でいるとかぶれる恐れがある。
■ 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	現在のところ知見なし。
■ 呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	現在のところ知見なし。
■ 生殖細胞変異原性	:	現在のところ知見なし。
■ 発がん性	:	現在のところ知見なし。
■ 生殖毒性	:	現在のところ知見なし。
■ 特定標的臓器毒性（単回暴露）	:	現在のところ知見なし。
■ 特定標的臓器毒性（反復暴露）	:	現在のところ知見なし。
■ 吸引性呼吸器有害性	:	現在のところ知見なし。

12. 環境影響情報

■ 生態毒性	:	現在のところ知見なし。
■ 残留性・分解性	:	現在のところ知見なし。
■ 生体蓄積性	:	現在のところ知見なし。
■ 土壤中の移動性	:	現在のところ知見なし。
■ オゾン層への有害性	:	現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

■ 残余廃棄物	:	埋め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認
---------	---	-----------------------------------

の産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行なっている場合にはその団体に委託処理する。尚、焼却する時には焼却設備を用い、大気汚染防止条例など諸法令に適合した処理を施して焼却する。

- 汚染容器及び包装： 使用済みの容器は可能な限り内容物を除去し、製品と同様に廃棄する。汚染されていない包装材料は、各地域の条例等に従って廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

- 国際規制 : 該当しない。
- 国連分類 : 該当しない。
- 輸送上の注意 : 高温多湿、直射日光を避ける。
ダンボールに梱包している為、風雨などによる水濡れに注意する。
落下、引きずる等の荷扱いは避ける。

1 5. 適用法令

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

1 6. その他の情報

- 特になし。

<記載内容の取扱い>

本記載内容は、現時点で当社が入手した資料、情報に基づいて作成しております。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。また、本記載内容は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いに際しては適切な安全対策を実施の上、ご使用頂きます様お願い致します。